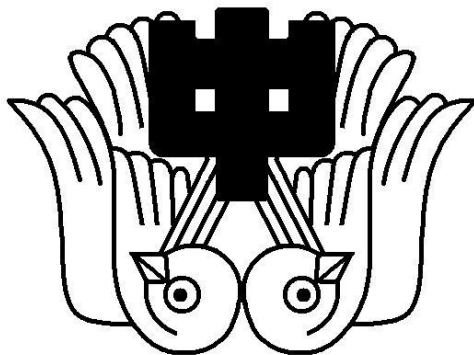


令和7年度



1 学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

国語科シラバス

1 学年

【国語って何？】

- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

【言葉の力とは？】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

【言葉の力を身に付けるには？】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。（何よりもやる気が大切です。）



【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考えを他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（国語、漢字）、国語辞典（各自用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	【言葉に出会うために】 朝のリレー 野原はうたう 声を届ける 書き留める/言葉を調べる 書写	○朗読やスピーチで大切なことは…… ・はっきりと、よく聞こえるように。 ・速さ、強弱に気を付けて。 ・間の取り方を考えて。
5	【学びをひらく】 はじまりの風 情報を的確に聞き取る 漢字の組み立てと部首 【新しい視点で】 ダイコンは大きな根？ 書写（硬筆）	○説明文を読むときには…… ・段落に着目して文章を読もう。 ・問題提起の部分（問いの部分）と、答えの部分に着目しよう。
6	ちょっと立ち止まって 記録のしかたを工夫する 「好きなこと」をスピーチで紹介 する 情報を集めよう 話し言葉と書き言葉 書写	○文法学習がスタートします ・「文節」をしっかり理解しよう。ここでつまずくと文法が苦手になります。 *漢字の小テストを定期的実施します。 *硬筆の優秀作品は展覧会に出品します。 *学期末にはノートの特検をします。
7	【言葉に立ち止まる】 詩の世界 言葉を集めよう 比喩で広がる言葉の世界 文法1 言葉のまとまりを考えよう 書写	○物語、小説を読むときには…… ・あらすじを確実に押さえよう。 （いつ、どこで、だれが、どうした） ・登場人物の心情（気持ち）を考える。
8	【心の動き】 星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに	
9	案内文を書く 聞き上手になろう 【筋道を立てて】 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう グループディスカッションをする 書写	○初めての古典学習 ・古典学習は「習うより慣れる」ことが重要です。何度も声を出して読んでみよう。そして、古典独特のリズムを体で覚えよう。
10	漢字に親しもう 【いにしへの心にふれる】 いろは歌 月に思う 蓬萊の玉の枝 「竹取物語」から 書写	○レポートのまとめ方 ・全体の構成を考えよう。また、調べたことと考えたことを書き分けよう。
11	今に生きる言葉 【価値を見いだす】 「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 文法2 言葉の関係を考えよう 書写	*古典では暗唱のテストを実施します。 *書き初めも硬筆と同様、優秀作品は市の展覧会に出品します。
12	考える人になろう 書写（毛筆）	○漢字を学習するときに大切なこと。 ・漢字は、「読める」「意味がわかる」「書ける」の順に大切です。漢字の意味も覚えておきたい。
1	【自分を見つめる】 少年の日の思い出 さまざまな表現技法 漢字の成り立ち 書写	*小学校6年生で学習した漢字は、中学校では書けなければなりません。
2	二十歳になった日 文法3 単語の性質を見つけよう 構成や描写を工夫して書こう 書写	*実力テストは教科書本文以外からの出題となる。その場で読んで、その場で考えて解答することになるので、授業中の質問には、自分で考える習慣をつけておこう。
3	一年間の学びを振り返ろう さくらの はなびら	

【社会科って何？】

社会科は、「地理」「歴史」「公民」の3つの分野に分かれています。1年生では、地理と歴史の分野をそれぞれ半分ずつ(歴史「2つの世界大戦」以降は3年生で学習)学習します。地理では、世界にあるたくさんの国々や地域について学習します。白地図に取り組み、作業学習もあります。歴史では、人類の出現から文明の発生、武士の社会について勉強します。写真やビデオなども利用して学習します。

【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- *日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- *社会的事象から、問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- *社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識・技能」	A	B	C	5
「思考・判断・表現」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて
知識・技能	学習ノート、レポート 発言、発表 その他提出物	日本の国土と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取ったり、気付いたことを表などにまとめることができる。
思考・判断・表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。

主体的に学習に取り組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート、レポート 定期テスト、振り返りカード 発言、発表	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課題を主体的に追究することができる。
---------------	---	--

【学習の予定】

	月	学習すること	学習のねらい
1 学 期	4	「世界の姿」	・地球儀や地図を使って地球への関心を高める。
	5	「日本の姿」	・世界が様々な国々で構成されていることを理解する。
	6 7	「世界各地の人々の生活と環境」	・日本の国土の位置や領土、経度・緯度、都道府県名・県庁所在地名などに理解する。 ・日本の地形や気候の特色について理解する。
2 学 期	8	「世界の諸地域」	・地域で異なる自然環境の違いを写真・映像・雨温図・統計資料等でよみとり、様々な条件のもとで多様な生活をしていることを理解する。
	9		・世界の諸地域の自然環境・産業・生活・文化歴史的背景などについて理解する。
	10 11		・世界のさまざまな地域について、自ら情報を集め、テーマを決め、調査や考察を行い、発表できる。
3 学 期	12	「歴史へのとびら」 「身近な地域の歴史を調べよう」	・歴史に関する興味・関心や学習への意欲を高め、大きな流れをつかむ。
	1	「古代までの日本」	・世界の古代文明と、日本列島においての人々の生活の始まりについて理解する。
	2	「中世の日本」	・聖徳太子の政治から摂関政治について理解する。
	3		・武家政権の誕生から武士や民衆の生活について理解する。 ・モンゴルの襲来、日明貿易、琉球など東アジアとの関わりを理解する。

【使用教材】

教科書・ノート・地図帳・白地図・歴史資料集・地理資料集、ワーク

*** 年度により若干変更もあります**

数学科シラバス



第1学年

＜第1学年の生徒・保護者の皆様へ＞

本年度、第1学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

【数学って何？】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を展開していきます。

【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力。

【目 標】 第1学年の数学の目標は、次のようになっています。

A ＜数 と 式＞

- ・正の数と負の数について理解し、四則計算ができるようにする。
- ・文字を用いることの意義を理解し、文字を用いた式の計算ができるようにする。
- ・方程式の意味を理解し、一元一次方程式を用いることができるようにする。

B ＜図 形＞

- ・基本的な作図の能力を身に付けたり、平面図形について理解を深めたりする。
- ・空間図形についての理解を深め、図形の計量ができるようにする。

C ＜数量関係＞

- ・比例と反比例の見方や考え方を身に付ける。
- ・比例と反比例を理解し、数量関係を式・表・グラフを用いて表現できるようにする。

D ＜データの活用＞

- ・目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取り、説明することができる。

【こんな方法で評価します。】

＜評価の観点＞

①知識・技能

正負の数、文字と式、方程式、比例と反比例、平面図形、空間図形、データの活用などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けている。

②思考・判断・表現

既に学習したものと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

③主体的に学習に取り組む態度

さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとし、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

＜評価の方法＞

毎時間の授業への取組、定期試験の結果、提出物を基にして、3つの観点のそれぞれを「十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…C」の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

＜使用教材＞

- ・教科書
- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。
- ・ワークブック…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。



＜学習の進め方＞

予 習

教科書を基に、授業のポイントや流れを事前に確認しておく。見通しをもって授業に臨む。

授 業

- ① 授業の準備をしっかりとる。
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。
(課題に真剣に取り組む。説明や発表をよく聞く。積極的に挙手や発言をする。わからないところは質問する。)
- ③ 創意工夫してノートにまとめる
(要点、例題、問題、質問など整理する。)

復 習

その日に習ったことは、その日のうちに再度確認する。理解が不十分なところは補充学習をする。

【内 容】

学期	月	学習の内容	学習のねらい
1学期	4月	オリエンテーション	数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
	5月	1章 正の数・負の数 1. 正の数・負の数 2. 正の数・負の数の計算 3. 正負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の具体的な事象を通して、正の数と負の数の意味を理解する。 ・正負の数の大小について不等号を用いて表すことができる。 ・正の数と負の数の四則計算ができるようにする。 ・正負の数についても、加法、乗法の交換、結合、分配法則が成り立つことを理解する。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	6月	2章 文字の式 1. 文字を使った式 2. 文字式の計算 3. 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いて、関係や法則を式に表現することができる。 ・文字を用いた式の意味をよみとることができるようにする。 ・文字を用いた式の計算ができるようにする。
	7月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
2学期	9月	3章 方程式 1. 方程式 2. 方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式について理解する。 ・一元一次方程式を解くことができるようにする。 ・一元一次方程式を用いて、具体的な問題解決ができるようにする。
	10月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	11月	4章 変化と対応 1. 関数 2. 比例 3. 反比例	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例や反比例の関係を見いだす。 ・比例と反比例の関係を表現したり、考察したりすることができるようにする。
	12月	4. 比例・反比例の利用	
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
3学期	1月	5章 平面図形 1. 直線と図形 2. 移動と作図 3. 移動と作図の利用 4. 円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって基本的な図形を作図することができるようにする。 ・平面図形について理解する。 ・垂線、垂直二等分線、角の二等分線の作図ができるようにする。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	2月	6章 空間図形 1. 立体と空間図形 2. 立体の体積と表面積 3. 空間図形の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、操作、実験などを通して、図形を考察することができるようにする。 ・空間図形について理解する。 ・扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 ・基本的な柱体・錐体の表面積と体積を求めることができるようにする。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	3月	7章 データの活用 1. ヒストグラムと相対度数 2. データにもとづく確率	<ul style="list-style-type: none"> ・データの分布の様子を読み取る。 ・代表値、近似値の必要性和意味を理解する。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
		一年間のまとめ ・一年間の総復習問題	・一年間の総復習問題をやることで再度、理解を深める。

数学計算
ドリル

年 題

氏名

【使用教材等】

ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。

理科シラバス

1 学年

【理科って何？】

私たちの身近な自然や現象をじっと観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことがおこるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。



【こんな力がつきます。】

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）

【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
「知識・技能」	A	B	C
「思考・判断・表現」	A	B	C
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C

➡

評定

5

4

3

2

1

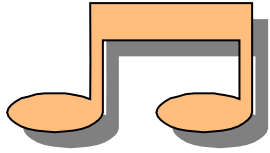
それぞれの観点は次のような方法で評価します。

観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト、小テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身につけている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができる。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができる。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。 計算の問題を解くことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物	進んで事物・現象に関わることができる。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができる。 提出物の内容を評価する。

【学習の予定】

月	単元	学習内容
4	1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類	身のまわりの生物を観察しよう 観察器具の使い方（ルーペ、双眼実体顕微鏡） スケッチの仕方 プレパラートのつくり方、レポートの書き方
5	2章 植物の体の共通点と相違点	花から種子へ 花のつくり 葉や根のつくり マツ・コケ・シダのつくり
6	3章 動物の体の共通点と相違点	脊椎動物と無脊椎動物の特徴 無脊椎動物の分類
	4章 生物の分類	植物の分類 動物の分類
7	4 光・音・力 1章 光の性質	光と物体の見え方、光のはね返し方 光の折れ曲がり方、光の集まり方 凸レンズのはたらき
8	2章 音の性質	音と振動、音の大きさや高さ、音の伝わり方 音の伝わる速さ
9	3章 力のはたらき	力の表し方、いろいろな力、力のつり合い
10	2 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその見分け方	実験器具の使い方（ガスバーナー、メスシリンダー） 金属と金属でない物質を区別する 白色粉末を区別する 密度で区別する
	2章 気体の性質	気体の集め方・調べ方 空気に含まれる気体 さまざまな気体
11	3章 水溶液の性質	物質が水にとけるようす 水溶液の濃度（質量パーセント濃度） 水溶液から溶質を取り出す方法
12	4章 物質の状態変化	状態変化と質量、体積 状態変化と温度 沸点の違いの利用
1	3 大地の成り立ちと変化 1章 大地の歴史と地層	堆積岩、化石 示相化石、示準化石
2	2章 火山活動と火成岩	火山の噴火、火山噴出物、 火山の形とマグマの粘り気、火成岩
3	3章 地震と大地の変化	揺れの伝わり方、震度、マグニチュード 地震が起こる仕組み
	4章 大地の躍動と恵み	地震に備えて、自然の恵み





音楽科 シラバス

1 学年

【(音楽) って何?】

○ 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、斉唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の3つの観点（通知票に記載）を、A B Cの3段階で評価します。そして、3つの観点のA B Cをもとにして5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	→	評定
知識・技能	A	B	C		5
思考・判断・表現	A	B	C		4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C		3
					2
					1

評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構造や歌詞の内容について理解している。 ・ 曲や歌詞に応じた発声について理解している。 ・ 発音や姿勢など、歌うために必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識や技能を生かして、表現を工夫している。 ・ 音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。

【学習の予定】

月	題材名・教材名	学習内容
4	歌唱 「上尾中学校校歌」 「We'll Find The Way～はるかな道～」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校歌の意味を理解し、愛校心と誇りを持つ ・ 歌詞の朗読を行い、歌詞の意味を感じ取る。 ・ 拍の流れにのって明るい声で歌う。 ・ 正しい発声で歌詞の意味を感じ取り、大きな声で元気良くのびのび歌う。
5	歌唱 「主人は冷たい土の中に」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。

	「浜辺の歌」	
6	器楽・アルト リコーダー 「喜びの歌」	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。
7	鑑賞 「春 第1楽章」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。 ・イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
8 9 10	器楽・アルトリコーダー 「オーラリー」 歌唱 ・合唱祭 学年合唱曲・クラス合唱曲	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。
11	鑑賞 「魔王」	・詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
12	鑑賞 ・日本の民謡 ・アジアの諸民族の音楽 「ソーラン節」 歌唱 「赤とんぼ」	・日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。 ・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。
1 2	鑑賞 「六段の調」 器楽 ・箏 「虫づくし」「さくらさくら」 創作 「My Melody」	・箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ・箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ・箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。 ・音のつながり方の特徴について理解し、それらを生かして音楽をつくる。
3	映画「ジョーズ」より「ジョーズのテーマ」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。 ・イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
	歌唱 ・卒業にむけての合唱曲 ・国歌「君が代」 ・「上尾中学校校歌」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。

美術科シラバス

1 学年

【美術って何？】

小学校の図画・工作とほぼ同じように考えて下さい。絵を描いたり、立体的な作品を制作したりします。小学校のときには使わなかった材料や道具を使用するなど、図工よりもやや専門的になります。

作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

【美術は 3 つの観点を総合して 5 段階の評定を出します】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 つの観点それぞれに

A（十分満足できる）、B（おおむね満足）、C（努力を要する）で評価します。

A の評価は…B に示した力をより発揮できたものが A になります。

B の評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】

【図工や美術の技能を活用する応用力】

【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】

【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】

【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

【使用教材等】

＜教材費より購入させていただくもの＞

クロッキーブック（４００円程度）

バッグ（クロッキーブック等の道具を入れる・４００円程度）

実習材料費（２０００円程度）ファイル（３００円程度）

＜直接購入させていただくもの＞

３学期に業者の方が販売します。朝、生徒の皆さん に購入していただきます。

アクリル絵の具（２０００円程度）詳細は後日別プリントでお知らせします。

＜その他＞

作品によっては、ご家庭から材料を持ってきたいただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション（あなたらしさを見つけて）	1年間の学習の目標や内容を理解する。 授業の進め方を知り、美術を楽しもうとする態度を持つ。
5	文字っておもしろい～デザインの世界～	レタリングの基本を学び、美術バッグにステンシルでイニシャルを書く。 ・田中一光の作品鑑賞 ・文字のシグネチャー的役割
6	見つめると見えてくるもの	静物画と自画像を描く。 ・セザンヌの絵画鑑賞 ・構図・デッサン ・水彩画の技法 ・立体感（光と影） ・混色技法
7	なぜか気になる情景～光のある場所～	鑑賞の視点身近な風景の中によさや美しさを感じ取り、主体的に表現する。 ・モネの作品鑑賞 ・光の美しさを感じ取る ・遠近法夏休みの宿題
9		
10	原始の美に出会う旅～生き生きとした立体に表す～	初めて扱う素材や道具を使って立体に表現する。 ・立体作品鑑賞 ・造形活動の基礎として、立体表現の楽しさを味わう。
11		
12		
1	多様な表現を味わう ～画家から学ぶ思いの伝え方～	ピカソの表現意図について理解することができる。
2	絵の具の表現に挑戦	1つ1つの技法の特徴を学び、発想を広げて今後の作品に生かすようにする。 ・材料や用具の特性と多様な技法（ドリップング、デカルコマニー、マブリングなど） ・技法を使ったデザインをする。現実にはない世界を絵画表現する ・色の学習 ・具象画と抽象画
3		

【保健体育って何？】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行ったらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、柔道、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく生長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習をします。

【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方が育ちます。
- ③ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点からA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。

	十分に満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識及び技能」	A	B	C	5
「思考力、判断力、表現力等」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

◎ 知識及び技能

知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◎ 思考力・判断力・表現力等




思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。
その後、紛失した場合は「各自購入」となります。



学期	学習すること	学習のポイント
一学期	<p>◎体育理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の約束事の確認 ・集団行動、準備運動の仕方など <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高めるための運動 <p>◎新体力テスト</p> <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳び、ハードル走 <p>◎器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動、跳び箱運動 <p>◎水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロール、平泳ぎ  <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ア・イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様性について学ぶ。 ・準備運動の仕方(集団走、体操)を覚える。 ・授業時の服装、持ち物、見学等の約束を理解する。 ・運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方を理解する。 ・柔軟かさや、巧みな動きを高める。 ・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。 ・ポイントや方法を知る。 ・助走、空中姿勢、着地の流れ、インターバルの走り方、空中姿勢 ・正しい計測や仕方のルールを知る。 ・回転系、倒立系バランス系の技に挑戦する。 ・連続技を発表する。 ・切り返し系、回転系の技に挑戦する。 ・クロールや平泳ぎの正しいフォーム、呼吸法を知る。 ・事故防止の心得や安全な行動に仕方を学ぶ。 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活習慣と健康
二学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力強い動きを高める運動 <p>◎体育祭</p> <p>◎球技Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓球 ・ソフトボール  <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 ア・イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様性について学ぶ。 ・個人またはペアで自分にあった運動を選び、用具を利用・工夫して取り組む。 ・仲間と積極的に関わり合い取り組む。 ・作戦を生かした攻防を展開しゲームを行う。 ・ルールを理解し、個人・集団技能を高める。 ・自己の能力にあった安定したペースで長く走ることに取り組む。 ・身体機能の発達 ・生殖に関わる機能の成熟
三学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎武道(柔道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼法、基本動作、受け身等 <p>◎ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンス <p>◎球技Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール ・バスケットボール  <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様性について学ぶ。 ・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。 ・相手を尊重する態度を育てる。 ・恥ずかしがらずに思いきり体を動かし、表現する。 ・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力にあわせて練習し、チームとしての作戦を立ててゲームを行う。 ・精神機能の発達と自己形成 ・欲求やストレスへの対処と心の健康

技術・家庭科（技術分野）シラバス

1 学年

□技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、加工、生物、エネルギー、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

1 年生では、材料と加工の技術の学習を行います。材料と加工の技術では、使用目的や条件等を踏まえ「技術の見方・考え方」を働かせながら生活の中の課題を解決するための木製品の製作を行います。切断や切削など基本的な加工方法も学びながら、技術による問題解決法について理解を深めていきます。

□技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「材料と加工の技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していけばよいのかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

□評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をA B Cの3段階で評価します。そして、3つの観点のA B Cをもとに5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

→

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・工具や機器の使用状況・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

【使用教材等】

木材等材料費がかかります。

【学習の予定】

1年生の技術分野の授業は10月から始まります。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
10	材料を加工し、身近な生活の問題を解決しよう	
11		<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス ○社会における材料と加工の技術 ○技術による問題解決の工夫
12		<ul style="list-style-type: none"> ○ものづくりの進め方と木材の特徴 ○材料の特徴 ○製品の使用目的と機能・構造
1		<ul style="list-style-type: none"> ○問題の発見と課題の設定、設計・計画 ○構想した製品の検討・再設計 ○製図・材料取り図 ○3DCAD設計
2		<ul style="list-style-type: none"> ○材料取り <ul style="list-style-type: none"> ・けがき ・切断 ○部品加工 <ul style="list-style-type: none"> ・部品の検査と修正 ・切削と穴あけ ・仮組立て、けがき、くぎ接合 ・組立ての検査と修正
3		<ul style="list-style-type: none"> ○仕上げ ○問題解決の振り返り ○これからの材料と加工の技術について

◎ 3学期の学年末テストのときに定期テストを1回実施します。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス 1 学年

□技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

1 年生では、主に衣生活・住生活・消費生活について行います。衣生活では、衣服のはたらきや既製服の表示、手入れの方法などを学び、衣服の適切な管理ができるようになることを目指します。また、被服の補修などで使われる基本的な縫い方を利用して作品を制作します。住生活では、住まいのはたらきについて学び、快適で安全に暮らすための工夫を考え、実践できる態度を身につけます。消費生活では、中学生に身近な販売方法を学び、消費者の権利と責任を考えた消費行動ができるようになることを目指します。

□家庭分野の学習で身に付く力は…

健康・快適・安全で豊かな衣生活・住生活に向けて考え、衣服の適切な選択や着用、日常着の手入れ、製作に関する知識及び技能、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能が身に付きます。さらに身近な消費生活については、金銭管理や消費者被害について工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けていきます。

□評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の 3 つの観点（通知票に記載）を、ABC の 3 段階で評価します。そして、3 つの観点の ABC を基礎に、5 段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	→ 評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

【学習の予定】

1 年生の家庭科の授業は 4 月中から 10 月中旬（2 学期中間テスト）までの前期です。

以下が、学習の流れの目安です。

- 4 月 家庭科のオリエンテーション
被服製作・実習
- 5 月 衣服のはたらき・既製服の表示と手入れの方法
- 6 月 ミシン縫いを活用した被服制作

- 7 月 様々な販売方法
- 9 月 住まいのはたらき、防災
- 10 月 2 学期中間テスト

【使用教材等】

被服実習材料費がかかります。



「特別の教科道徳」 シラバス

月	回数	教材名		
		1 年	2 年	3 年
4	1	挨拶しますか、しませんか	鳥のように空をとびたい 高梨沙羅	〇〇流デジタルライフ
	2	あなたに	ごみ収集場所をどこに	思い出のオムライス
5	3	掃除の神様が教えてくれたこと	ソムチャイ君の笑顔	百年たっても
	4	うわさで決めるの？	コスモス R 計画	余命ゼロ 命のメッセージ
	5	釣りざおの思い出	ヨコスカネイビーパーカー	アップロード ダウンロード
	6	黒い弁当	僕の職場体験活動「彩の国の道徳」	赤道直下にすむマウンテンゴリラ
6	7	バスと赤ちゃん	蹴り続けたボール	町工場から宇宙へ
	8	裏庭での出来事	ジャッジとチャレンジ	世界一厄介な問題
	9	壊れた掲示板	父との約束	二人の弟子
	1 0	仮入部「彩の国の道徳」	青のオーケストラ	私たちの夏
7	1 1	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	初めてのアルバイト	笛
	1 2	真の国際人 嘉納治五郎	三人の誓い 大山捨松	ねぶたを夢見て
8	1 3	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	忘れていたこと「彩の国の道徳」	独りを慎む
9	1 4	ネット将棋	キャッチボール	一冊のノート
	1 5	オーストリアのマス川	ブラックジャック ふたりの黒い医者	電車の中で
	1 6	トキのいる里をもう一度	サキとタク	もっとわかり合いたい
1 0	1 7	日曜日の朝に	ヒト・IPS 細胞を求めて 山中伸弥	境界線を越える
	1 8	金色の稲穂	言葉の向こうに	領民を愛した名君 上杉鷹山
	1 9	町内会デビュー	共に未来を	二通の手紙
	2 0	ふと目の前に 森繁久彌	リンゴが教えてくれたこと	忘れられないご馳走
1 1	2 1	ネパールのビール	足袋の季節	未来の日本へデビュー
	2 2	エルトゥールル号の遭難	ものづくり	どうして？
	2 3	公平とはなんだろう	星置の滝	ルリボシカミキリの青
	2 4	自然の懷に抱かれて	厳かなるもの	二人はライバル
1 2	2 5	伝説を伝説に	黒蜘蛛の元次	卒業文集最後の二行
	2 6	クラスメイト	償い	白川郷に魅せられて
	2 7	日本の心と技	金閣再建 黄金天井に挑む	正確な日本地図の追究 伊能忠敬
1	2 8	イチローの軌跡	五色桜	礼儀って
	2 9	私たちの初詣「彩の国の道徳」	お通夜のこと	優介の決意
	3 0	認められたグラブ	心のパス交換「彩の国の道徳」	雪が降ると思い出すことがある
2	3 1	吾一と京造	未来に輝け復興和太鼓	五井先生と太郎
	3 2	傘の下	私は大丈夫そんなきもちはないですか	スポーツの力
	3 3	ゲームから広がる可能性	美しい母の顔	「血の通った義足」を作りたい
3	3 4	捨て犬・未来	そこにいるだけでいい	杉原千畝の選択
	3 5	何だっていいんだ「彩の国の道徳」	帰郷	亡き母へのトランペット

○4月最初の授業で道徳オリエンテーションを行います。

※評価については、各学期通知表に掲載します。